

# 令和8年度 学校経営重点目標

学校教育目標 「現代に生きる逞しい人間の育成」

## 今年のテーマ

「本校の不易と流行を明らかにし、個々の生徒の可能性を最大限に引き出す」

- 1 「時を守り、場を清め、礼を正す」を教育活動の基盤とした「本校のよき学校文化」の継承
  - (1) 「時を守り、場を清め、礼を正す」ことを通して、当たり前のことを当たり前「実行する力」「行動する力」を身に付けた生徒を育成する。
  - (2) 「本校のよき学校文化」を理解させ、それを継承することに矜持を持たせ、他者に対する思いやりにあふれ、感謝と謙虚な心を持ち、忍耐力と自律心で自身を磨き、主体的に自らの夢の実現を目指す生徒を育成する。
  - (3) 生徒が進路実現に向けて、自らの課題を設定し、粘り強く努力を重ね、課題解決に主体的に取り組む人間へと成長できる雰囲気醸成する。
  - (4) 個々の生徒に明確なビジョンを持たせる進路指導を行い、高い志を持たせ、生徒の進路希望実現ができるよう、教員が指導力を身に付けるとともに、個人や学年の状況を全員で共有し、組織的に進路指導を行う。
  - (5) 生徒主体の生徒会活動、学校行事、部活動の充実を図り、生徒の主体性・自立性を最大限に引き出し、自他の個性を尊重し、互いに認め合い、高め合う集団づくりを推進する。

※ 「本校のよき学校文化」とは、生徒が、先人たちの「志」に想いをはせ、日常の高校生活全般を通じて望ましい人格の形成を図り、社会に貢献できる人材となるための基礎・基本が培われていること
- 2 在校生や中学生、保護者から信頼され、選ばれる学校で在り続けることのできる教育活動の推進
  - (1) 職員が常に生徒の成長を願い、使命感を持って教育活動を楽しみながら実践し、互いに信頼し合い、組織力を高めることで、全教職員一丸となった教育活動を推進する。
  - (2) 生徒を認め、褒め、鍛えることにより、意欲の向上を図るとともに、生徒の自己肯定感を高め、生徒が本校を選んでよかった、保護者が本校に進学させてよかったと思える学校づくりに取り組む。
  - (3) 授業相互参観やICTを活用した授業に関する研修会を通して、教員が自己研鑽に努め、授業改善に取り組む雰囲気醸成する。また、ICTを活用した授業や教科横断的な授業を計画することで、DXを推進できる人材育成に取り組む。
  - (4) 普通科と英語科とが切磋琢磨する教育活動を展開する。また、英語科の特色ある教育活動を積極的に発信し、生徒募集を積極的に行う。
  - (5) 全職員がスクール・ミッションを共有し、業務の意義を認識して、成果を上げることで、本校で働くことに誇りを持つことができるようにするとともに、業務の見直し・効率化を積極的に行い、働き方改革を推進する。

※ スクール・ミッション  
社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、国際社会にたくましく雄飛する人材を育成する学校  
探究的な学習活動や学校行事、部活動等の教育活動全般を通して、国際的感性を身に付け、自ら課題を発見し、他者と協働することで主体的・意欲的にその解決に取り組む人材を育成します。